## 遭難対策本部の設置に係るフローチャート

2023.03.30 遭難対策委員会 山田京子

1. 遭難事故発生から対応メンバーの集合まで

## 山行担当リーダーより遭難事故発生の一報あり



対応項目基本 可児会長(又は山田 L 委会長、三輪副会長、徳永 L 委副会長)が受理する



- ・可児会長(又は山田 L 委会長、三輪副会長、徳永 L 委副会長)は遭難対策本部メンバーを招集する
- ・招集場所: 可児会長宅(会長不在の場合は番号順とする)
- ・招集メンバー:下記の通り
  - 1.可児会長 2.三輪副会長 3.山田 L 委会長 4.徳永 L 委副会長 5.河合(八)会務委員長
  - 6.松浦広報委員会長 7.西野会計委員



## 招集メンバーはできる限り早めに招集場所に集合する

## 2.対策本部における役割対応項目

各種対応と担当	可児	三輪	山田	徳永	河合	松浦	西野
					$(\mathcal{N})$		
1)家族対応							
家族の要望・警察・消防・報道	0		0		0		
=報道に対しては家族の要望に沿って							
家族対応チームが行う							
2)現地派遣		0				0	
=現地の警察・消防・報道対応							
3)本部に残って各種対応を続ける							
=必要に応じ追加対策・会員の追加応	0		0	0	0		
援・会員への連絡等							
4)経過記録				0		0	
5)当座の経費対応・経費記録	0		0				0
6)事後処理	0	0					
=関係者への挨拶・報告書作成							

- ① 各種対応の指揮は可児会長と山田 L 委員会長の合意にて行う
- ②倶楽部会長、L 委員会長が不在の場合は、倶楽部副会長又は L 委員副会長が加わり、その合意によって指揮を行う
- ③山行担当 L よりの「事故発生時の一報」、「下山報告」連絡順位は次の通り
  - 1. 可児会長 2. 山田 L 委員会長 3. 三輪副会長 4. 徳永 L 委員副会長